

## ●本道での水田土壌（第二回）および玄米の放射性物質モニタリング調査結果

昨年の東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生したことから、道内農地の土壌への放射性物質の影響を確認するため、引き続き平成 24 年度も水田土壌（水稻栽培ほ場）および玄米のモニタリング調査を実施しました。今回の調査結果は以下のとおりです。

- 水田土壌については、前回と同様、震災前（H20年～H22年）の環境放射能水準調査結果の値をいずれの場所でも下回りました。
- 水田土壌の調査に併せて行った玄米（水田土壌を採取した付近から収穫）の調査結果については、いずれも「不検出」でした。

### （ 水田土壌第二回調査結果 ）

（単位：Bq/kg乾土）

市町村名	調査場所	土壌採取日	測定結果		
			ヨウ素-131 (I-131)	セシウム-134 (Cs-134)	セシウム-137 (Cs-137)
岩見沢市	中央農業試験場	9月10日	ND (3.2)	ND (4.7)	4.9 (4.5)
北斗市	道南農業試験場	9月13日	ND (3.8)	ND (4.4)	6.9 (4.8)
比布町	上川農業試験場	9月10日	ND (3.8)	ND (4.7)	ND (4.8)

- ・各農業試験場の水稻栽培ほ場から採取し、北海道衛生研究所で分析。
- ・降雨により道南農業試験場の土壌採取は9月13日に変更した。
- ・NDは不検出のこと。表中下段の括弧内は検出限界値。

### （ 玄米調査結果 ）

（単位：Bq/kg）

市町村名	調査場所	玄米採取日	測定結果		
			ヨウ素-131 (I-131)	セシウム-134 (Cs-134)	セシウム-137 (Cs-137)
岩見沢市	中央農業試験場	9月10日	ND (4.3)	ND (4.9)	ND (3.7)
北斗市	道南農業試験場	9月10日	ND (4.2)	ND (4.0)	ND (3.2)
比布町	上川農業試験場	9月10日	ND (3.9)	ND (3.9)	ND (3.0)

- ・各農業試験場の水稻栽培ほ場から採取し、北海道衛生研究所で分析。
- ・NDは不検出のこと。表中下段の括弧内は検出限界値。

参考：震災前（H20～22年）の北海道の農地土壌における放射性物質モニタリング結果

	調査場所	ヨウ素-131	セシウム-137
環境放射能水準調査結果（道立衛生研究所）	江別市	不検出	14～19Bq/kg乾土

セシウム 134 の公表値はありません。

参考：震災前（H20～22年）の北海道産の精米における放射性物質モニタリング結果

	調査場所	ヨウ素-131	セシウム-137
環境放射能水準調査結果（道立衛生研究所）	石狩市	不検出	不検出

セシウム 134 の公表値はありません。

問い合わせ先：

北海道農政部食の安全推進局技術普及課

住所 北海道札幌市中央区北3西6

電話 011-231-4111（内線 27-801）

FAX 011-232-1091

## 【1】本道での水田土壌における放射性物質モニタリング調査結果の推移

○ NDは不検出のこと、単位はBq / kg 乾土。( )は検出限界値。

### 1-1 岩見沢市(中央農業試験場)

Iwamizawa City, Central Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年8月8日	平成23年9月1日	平成24年8月20日	平成24年9月10日
ヨウ素-131	Bq/kg乾土	ND (6.2)	ND (6.0)	ND (6.5)	ND (3.2)
セシウム-134	Bq/kg乾土	-	ND (7.0)	ND (8.0)	ND (4.7)
セシウム-137	Bq/kg乾土	ND (6.4)	ND (6.1)	ND (7.9)	4.9 (4.5)

### 1-2 北斗市(道南農業試験場)

Hokuto City, Dounan Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年8月8日	平成23年9月1日	平成24年8月20日	平成24年9月13日
ヨウ素-131	Bq/kg乾土	ND (5.2)	ND (6.9)	ND (5.5)	ND (3.8)
セシウム-134	Bq/kg乾土	-	ND (7.7)	ND (5.9)	ND (4.4)
セシウム-137	Bq/kg乾土	12.3(5.1)	13.3(5.1)	7.7 (6.2)	6.9 (4.8)

### 1-3 比布町(上川農業試験場)

Pippu Town, Kamikawa Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年8月8日	平成23年9月1日	平成24年8月20日	平成24年9月10日
ヨウ素-131	Bq/kg乾土	ND (6.3)	ND (5.5)	ND (5.7)	ND (3.8)
セシウム-134	Bq/kg乾土	-	ND (6.2)	ND (6.5)	ND (4.7)
セシウム-137	Bq/kg乾土	ND (5.7)	ND (5.4)	ND (6.2)	ND (4.8)

## 【2】本道での玄米における放射性物質モニタリング調査結果の推移

○ NDは不検出のこと、単位はBq / kg。( )は検出限界値。

### 2-1 岩見沢市(中央農業試験場)

Iwamizawa City, Central Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年9月1日	平成24年9月10日
ヨウ素-131	Bq/kg	ND (5.0)	ND (4.3)
セシウム-134	Bq/kg	ND (5.0)	ND (4.9)
セシウム-137	Bq/kg	ND (3.9)	ND (3.7)

### 2-2 北斗市(道南農業試験場)

Hokuto City, Dounan Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年9月1日	平成24年9月10日
ヨウ素-131	Bq/kg	ND (4.4)	ND (4.2)
セシウム-134	Bq/kg	ND (4.3)	ND (4.0)
セシウム-137	Bq/kg	ND (3.4)	ND (3.2)

### 2-3 比布町(上川農業試験場)

Pippu Town, Kamikawa Agricultural Experiment Station

放射性核種名	単位	平成23年9月1日	平成24年9月10日
ヨウ素-131	Bq/kg	ND (5.4)	ND (3.9)
セシウム-134	Bq/kg	ND (5.5)	ND (3.9)
セシウム-137	Bq/kg	ND (3.1)	ND (3.0)